

憧れの甲子園へもう一度…

第85回記念選抜高校野球大会に出場した、宇都宮商業高校の渡辺祐二さんにお話を伺いました。

渡辺さんは、主将として、また、中心選手として、同校の34年ぶり3回目の出場の原動力として活躍しました。

秋季県大会では、決勝戦で惜しくも敗れて準優勝。その負けた悔しさがチームにとってプラスとなり、1つにまとまることができたため、関東大会では3位入賞を果たしました。それと同時に周囲では、「選抜出場確定」の話題で持ちきりになっていたようですが、「決定の報告が来るまでは、ドキドキの日でした。出場が決まった時は、ホッとしたし、素直にうれしかった。」と、当手を振り返っていました。



てくれました。

チームをまとめるため、練習後に選手だけでミーティングを行っているそうです。それは3年生の発案で、その日の反省や今後のことを話して話しながら練習につなげていたそうです。

今月の輝ける星



「甲子園は小さい頃からの憧れ。」というように、甲子園に行くまでは行くことが目標。今は、「夏の大会でもう1度行って、勝って校歌を歌いたい。」という新たな目標が。

甲子園とは「憧れであり、楽しく野球ができる場所。選抜は初戦で負けた。夏の大会は厳しい県予選になるが、必ず甲子園に行きます。」「力強い言葉に、強い決意が表れていました。」

上三川町の学校紹介 ～本郷小学校(児童数:139名)～

▼縦割り班(なかよし班)による活動

毎日の清掃活動をはじめ、毎月1回実施する業間遊び、校内すもう大会などです。

中でも、校内すもう大会は、町内唯一の本格的な土俵(平成20年8月完成)で実施します。縦割り班対抗で、ほぼ同学年同士で対戦できるように取り組みを決めて実施します。昨年で第5回目を迎え、高学年の取り組みは、様になってきたと言われるほどになりました。

保護者や地域の方も応援に訪れるなど、大変盛り上がり、特色ある学校行事の一つになっています。



▼地域の高齢者との交流活動

本郷祭り、祖父母授業参観、登下校の安全に協力してくださる「見守り隊」の皆さんに感謝する会などを通して交流を深めています。

中でも、本郷祭りでは、本郷地区社会福祉協議会の協力を得て、折り紙、弓矢、火おこし、フラワーアレンジメント、ペーパークラフトなど9つのコーナーを設け、それらの活動を通して、地域の高齢者の方とふれあい活動を実施しています。